

2024年度実務研修会 各講座のテーマと内容

クラスコード	テーマ	内容
11	開講式 ・理事長あいさつ ・委員会からの報告	<ul style="list-style-type: none"> ・開講にあたり、当会の現状および今後の展望についてお話しいただきます。 ・複数の委員会より、各委員会の活動状況等についてご報告いただきます。
21	企業年金・個人年金制度の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・企業年金・個人年金制度は、公的年金の給付と相まって国民の老後の所得確保を図るという役割があり、高齢期の就労拡大など社会の変化に合わせた制度の見直しを適時行ってきています。 ・本講義では、企業年金・個人年金制度の概況を振り返りつつ、社会保障審議会企業年金・個人年金部会における次期制度改正に向けた議論の状況などを概説します。
22	資産運用の基礎とサステナブル(ESG)投資の潮流	<ul style="list-style-type: none"> ・年金数理人にとっては、政策アセットミックス構築時や年金ALM実施時、財政悪化リスク相当額の算定(特別算定方法の場合)の際などで資産運用の知識が求められることとなります。 ・本講義ではこれらを実施するにあたって、必要となる資産運用の知識に焦点を当て、教科では語られない実務上の工夫や留意点を含めて解説し、資産運用の知識向上を目指します。 ・また、最近話題となっている、サステナブル投資(ESG投資)についても解説し、知識を深めます。
23	米国の年金制度	<ul style="list-style-type: none"> ・米国の年金制度について解説する講座です。 ・前半で公的年金と私的年金に関する基本的事項を確認します。 ・後半では最近のトピックスをいくつかお話しします。
31	説明力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の伴う内容を一般の方に説明する際、なかなか理解を得られないという苦勞をみなさんご経験のことと思います。 ・本講座では、一般論として専門的な知識を全く持たない相手に、なるべく分かり易く伝えるための基本的なポイントをご紹介します。
32	人口学方法論の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・人口学方法論の基礎的概念と分析手法、またその応用について解説します。 ・特に、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」や、結婚の多相生命表分析についても言及します。
33	私的年金税制と給付の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座では、私的年金の税制ならびに給付の動向について解説します。 ・前半は、私的年金税制の概要を、租税原則・租税体系・所得概念など租税理論から説き起こして解説します。 ・後半は、制度創設から20年以上が経過した確定給付企業年金および確定拠出年金の給付の動向を、各種統計を基に解説します。 ・「人生100年時代」と言われる中、私的年金の出口戦略(受け取り方)を考えるうえで重要なテーマです。
41	医療保険について	<ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険制度の概要、財政の仕組み、医療費について基礎的な内容を解説します。 ・また、最近の制度改正内容や現状と課題、制度改正に繋がり得る動向などを概説します。
42	IFRSの動向 - サステナビリティ開示基準も含めた最近の主なプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座では、最近のIFRSの動向の中で、多くの企業に影響し、関心が高いと思われる以下のプロジェクトについて解説します。 <ul style="list-style-type: none"> －サステナビリティ開示基準 －新基準IFRS第18号「財務諸表における表示及び開示」のポイント ・IFRSの基準そのものをただ解説するのではなく、開発の経緯や企業が受ける影響などをわかりやすく解説いたしますので、基準の特段の知識がない方でも安心して受講いただけます。
43	内外経済の環境認識と今後の金融経済見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座はグローバル経済、米国、ユーロ圏、日本の経済動向についての現状認識とそれを踏まえた25年以降の内外の金融経済見通しについての講義です。 ・実際の経済指標やチャート等をもとに内外経済の現状を分かりやすく説明するとともに、スタンダードな経済や金融政策の見通し、およびリスクシナリオについてもご紹介する予定です。 ・また年金運用に関連するテーマとして日米の潜在成長率や自然利子率といった概念についても少し触れたいと思います。

クラスコード	テーマ	内容
51	人的資本経営と企業価値－高エンゲージメント企業を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 日本企業のエンゲージメントが低い論理について説明します。 エンゲージメントが企業価値に与える影響について論じます。 エンゲージメントを高める方法について、いくつかの事例をベースにして議論します。 エンゲージメントを高めるために、退職給付がどのようにあるべきかについて論じます。
52	財政運営実務基準	<ul style="list-style-type: none"> 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 最近の確定給付企業年金に関する数理実務基準・ガイダンスおよび確定拠出年金に関する数理実務基準・ガイダンスの改正内容を中心に、実務関係者を主な対象とした解説を行います。
53	欧州主要国の年金政策と職域年金の動向（フランスと欧州連合諸国）	<ul style="list-style-type: none"> 欧州主要国の年金制度につき、職域年金を中心に、基本的な制度および財政運営の内容や最近の改正動向を、入門編を含めて解説する講座です。 今年度は、フランスの公的年金制度を含めた年金制度見直しの背景や議論、また欧州連合諸国の職域年金制度の状況を解説します。
61	公的年金財政	<ul style="list-style-type: none"> 公的年金財政の健全性を確認する令和6年財政検証結果およびオプション試算結果が令和6年7月に公表されました。また、この財政検証では初めての試みとして、年金額の分布推計も行いました。 本講座では、公的年金制度の現状や財政検証結果、財政検証結果を踏まえ行われている制度改正に向けた議論を紹介しつつ、公的年金財政の課題について解説します。
62	データサイエンスの具体的な活用に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の実務研修会では、「データサイエンス活用のヒント」と題し、予測モデリングに関する基本事項をはじめとして、年金分野でデータサイエンスを活用するために参考となると思われる事項や事例を紹介しました。 今回は、昨年度の講義の要点をおさらいしたうえで、情報の更新をするとともに、データサイエンスを活用するためのより具体的なヒントを紹介します。 特に、年金分野の実務での活用に向けた最近の研究も紹介しながら、年金分野のデータへのデータサイエンス活用の可能性について論じます。
63	グローバル市場と内外金利の動向	<ul style="list-style-type: none"> グローバル経済の今後の見通しに関して、各国の経済動向やインフレ動向による影響も踏まえながら説明します。 内外金融政策の行方やグローバル市場における注目トピックの最新情報についても解説します。 その上で、金利動向への影響や、内外金利の関係性、需給環境による影響についてもご紹介する予定です。 特に、政策金利や景気の見通しがイールドカーブ動向に与える影響や、国内外の中期的な金利水準の考え方についても解説します。
71	企業年金に関する最近の法的論点	<ul style="list-style-type: none"> 企業年金に関する最近の法的トピックを取り上げます。 関連する裁判例にも言及します。
72	2024年度年金数理自主研究会の中間報告	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度の年金数理自主研究会から中間報告をする講座です。 A班からは「他制度掛金相当額の実務課題に関する一考察」 B班からは「公的年金と私的年金の役割分担シミュレーション」について中間報告をします。 受講中、気が付いた点等ありましたら、積極的なコメントをお願いいたします。
73	退職給付会計実務基準	<ul style="list-style-type: none"> 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 「退職給付会計に関する数理実務基準」および「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」と「IAS19に関する数理実務基準」を比較しながら解説を行う予定です。
81	AOP始動、日米共に新政権に移る中、DB年金の投資戦略は？	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大後の金融緩和、その後のインフレ鎮静への対応を超え、ソフトランディングを目指す米国経済、バブル後の高値を超えた日本ではあるが、投資環境は更に複雑になっている。 一方、DB年金では2025年はAOP（アセットオーナープリンシプル）が始動する。このAOPへの対応、複雑な投資環境への対応を迫られる顧客サポートとして何ができるかを考えましょう。 当講座では主に米国の株式や債券利回りなどの動向等、より複雑になる投資環境でのDB年金の運用戦略の取り方について解説、AOPの整理も行います。
82	賃金とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> 賃金の決め方：職務給と所属給 賃金の上げ方：ベースアップと定期昇給 賃金の支え方：最低賃金 なぜ日本の賃金は上がらないのか？
83	ファイナンシャル・ウェルビーイングとは何か	<ul style="list-style-type: none"> 近年、幸福学（ウェルビーイング学）が発展していますがお金と幸福の関係は重要です。例えば、家計管理ができていない人、ライフプランを持つ人、趣味や生きがいにお金を使っている人はそうでない人と比べ幸福度が高いことが分かっています。 2024年4月設立の金融経済教育推進機構（J-FLEC）はそのミッションにファイナンシャル・ウェルビーイングの実現を掲げています（NISAの普及ではなく！）。 ファイナンシャル・ウェルビーイングの基本を理解し、そこに企業年金の果たす役割もあわせて考えてみます。